

報道関係者各位

プレスリリース

2026年8月27日

株式会社タカミヤ

タカミヤ、異業種8社と建設業界の課題解決を加速する
「TAKAMIYA FAIR 2026」を10月15日(木)・16日(金)に開催

～ロボット・AI・遠隔操作などの技術を結集し、新たなソリューション創出を促進～

足場をはじめとする建設業界のプラットフォームとして、業界課題に革新的なソリューションを創造しつづける株式会社タカミヤ（以下タカミヤ、大阪本社：大阪市北区、東京本社：東京都中央区、代表取締役会長兼社長：高宮一雅）は、2026年10月15日（木）・16日（金）の2日間、Takamiya Lab. West（兵庫県尼崎市）にて、「TAKAMIYA FAIR 2026 未来を、共に。ここから。」を開催します。

本イベントは、建設業界が抱える深刻な人手不足をはじめ、安全性の向上や省力化、現場効率化といった課題に対し、企業や業界の垣根を越えて技術と知見を持ち寄り、新たな解決策の創出を目指すものです。

2回目の開催となる今回は、ロボット、AI、遠隔操作、ウェアラブルデバイスなど、多様な技術を持つ共創パートナー8社が出展します。各社の製品・サービスを個別に紹介するだけでなく、建設現場の課題や工程に沿って展示することで、技術同士の掛け合わせや企業間のマッチングを促進します。また、10月15日・16日の2日間で、計4名の有識者・企業関係者による特別講演を実施します。初回は立命館大学の建山和由教授を迎え、「人口減少社会を迎えて～建設業の課題と挑戦～」をテーマとした特別講演を実施します。



「TAKAMIYA FAIR 2026」10月開催 建設業界の課題解決を加速する

- 2026年**10/15(木)16(金)の2日間** (Takamiya Lab. West / 兵庫)
- 多様な技術を持つ**共創パートナー8社**が出展
- **ロボット・AI・遠隔操作**などで新たなソリューション創出を促進

■開催の背景

建設業界では、技能者の高齢化や人手不足が深刻化する中、安全性を確保しながら生産性を向上させることが求められています。一方、省力化や現場効率化に向けたDXは、導入コストや現場への定着などが課題となり、十分に進んでいるとはいえません。

また、建設現場が抱える課題は、安全管理、機材運搬、人材教育、情報共有など多岐にわたり、一企業の技術やサービスだけですべてを解決することは困難です。そのため、異なる分野の企業がそれぞれの技術や知見を持ち寄り、業界の垣根を越えて連携することが重要となっています。

こうした背景からタカミヤは、企業や技術、人がつながり、建設現場の新たな解決策を共に生み出す場として、「TAKAMIYA FAIR 2026」を開催します。

昨年、初めて開催した「TAKAMIYA FAIR 2025」では、建設現場に比較的導入しやすいDXソリューションを中心に紹介し、444名の方にご来場いただきました。

2回目となる今年は、ロボット、AI、ドローン、遠隔操作、ウェアラブルデバイスなどの技術を持つ異業種8社が出展します。出展企業同士や来場企業との交流を促し、異なる技術やノウハウの掛け合わせによる新たな製品・サービスや協業の創出を目指す「共創型イベント」へと発展させます。



「TAKAMIYA FAIR 2025」の様子

■注目プログラム

【特別講演①】10月15日（木） 11:00～12:00

「人口減少社会を迎えて～建設業の課題と挑戦～」

・登壇者：立命館大学 教授 建山和由 先生

・登壇内容：我が国は人口減少社会を迎え深刻な人手不足に陥っています。建設業ではこの危機的な状況を改善すべく、低迷する労働生産性を画期的に改善するための手立てを講じてきました。その中でもICTをはじめとするデジタル技術の活用は、最も期待されている施策といえます。本講演では人口減少時代における建設業の課題と挑戦を紹介します。



【特別講演②】10月15日（木） 14:00～15:00

「AIと共創が実現する建設現場のDX～人材育成から安全点検まで～」

・登壇者：株式会社ビースポーク 代表取締役 綱川 明美様

・登壇内容：人手不足や技能伝承、安全管理など、建設業界が抱える課題は一社だけで解決できるものではありません。本講演では、生成AIによる研修・技能検定対策や、人間のような脳をもつAIロボットを活用した足場点検や塗膜検査自動化の取り組みをご紹介します。異業種との共創によって実現するフィジカルAIによる安全で持続可能な建設現場の未来についてお話しします。



【特別講演③】10月16日（金） 11:00～12:00

「現場に筋肉はいらへんねん！」

・登壇者：マッスル株式会社 代表取締役社長 玉井 博文様

・登壇内容：ロボットやAIがもてはやされる昨今、本当に人の仕事はなくなるのでしょうか？とんでもない！危険を伴う作業や重労働、反復作業をロボットに任せる事で工夫や知恵が必要な人にしかできない仕事に集中でき、より個人の能力を発揮できます。仕事全体の効率アップに繋がる「ロボットと人の共生・協働時代」のスタート！！



【特別講演④】10月16日（金）14:00～15:00

「AI時代、人と現場と企業はどう変わるのか

～問いを立てる力から、建設業界の未来を考える～

・登壇者：株式会社ロフトワーク プロデューサー 小島 和人様

・登壇内容：AIによって働き方や人の役割が大きく変わりつつあります。答えを出す力が一般化する一方で人には問いを立てる力が求められる。その変化を人と現場の関係から捉え建設業界や工事現場の未来を考えます。安全についても技術論に限定せずルールや注意だけに頼らない現場を、人の行動や組織文化から考えます。



■ 出展企業・出展内容

企業名	企業概要	出展内容
アクトワンマイチ株式会社	アクトワンマイチは、建設用軽仮設機材をレンタルする卸（おろし）レンタル会社です。新規事業開発部DX事業推進課では、現場の課題に寄り添い、専任の営業担当がカメラやドローンなどDX商材を多数メーカー品からご提案いたします。機器の選定から導入までお客様の目的に合わせて、現場の作業効率化や生産性の向上をサポートいたします。	・暑熱対策AIカメラ「カオカラ」 ・超狭小空間点検ドローン「IBIS2」 ・インタラクティブ ディスプレイ「屋内用デジタルサイネージ」 ・AI動体検知機能付きカメラ「M-Cube」
建ロボテック株式会社	「世界一ひとにやさしい現場を創る」をコンセプトに、人材不足の建設業界において、現場の人とともに働き、辛く単調な作業から職人を解放する協働型ロボット「トモロボシリーズ」を中心とした省人化・省力化ソリューションを企画・開発・販売するスタートアップです。	追従機能付き運搬ロボット
テラダ産業株式会社	私たちは、お客様の多様なニーズに応える柔軟な対応力と、高い品質基準を兼ね備えた製品とサービスを提供しています。創業以来、培ってきた確かな技術力と信頼関係を活かし、地域の未来を支える力となることを目指しています。産業全体を支えるインフラや設備づくりを通じて、より良い社会の実現に貢献していきます。	次世代のハーネスフック検知システム「ハーネック」
株式会社ビースポーク	「言葉の壁」と「人手不足」という社会課題に、	多言語対応の研修用AIソリューション

	AIで挑むビースポーク。多言語コミュニケーションで培った技術を基盤に、多様な人材の育成と技能継承を支える研修DXを展開しています。さらに、次のステージを見据え、熟練の知恵をAIやロボットへつなぐ新たな挑戦を進め、人とテクノロジーが共に活躍する社会の実現を目指します。	「BeTrained（ビートレインド）」
Fairy Devices株式会社	Fairy Devices株式会社は、「Empower AI to Empower Human」を掲げ、現実とデジタルを繋ぐフィジカルAIを開発・実装する企業です。首掛け型ウェアラブルデバイス「THINKLE T」等、ハードからソフトまでの垂直統合開発を強みにマルチモーダルデータを構造化。産業向けAIの社会実装を通じ、現場の変革を推進します。	フィジカルAI×ウェアラブルデバイスによる「遠隔支援」「現場データ蓄積」「作業動画のAI解析」
株式会社マクニカ	マクニカは、半導体、サイバーセキュリティをコアとして、最新のテクノロジーをトータルに取り扱うサービス・ソリューションカンパニーです。世界33か国・地域、100拠点で事業を展開し、50年以上の歴史の中で培った技術力とグローバルネットワークを活かして、AIやIoT、自動運転など最先端技術の発掘・提案・実装を手掛けています。	屋外フォークリフトの自動運転・遠隔操作 ファブリック刺繍電極スピーカー
マッスル株式会社	人間の筋肉のように、しなやかに動くロボットを作りたいという思いを社名に込めました。小さいながらも高度な技術力と営業力を持つ頭脳集団として、製造は超一流企業に委託するファブレスメーカーとして自社開発を行っています。他社では実現できない技術を目指し、多くの特許とノウハウを積み重ね、今まさに成長を続けています。	空中搬送パラレルリンクロボット
株式会社Rist	最高峰のAI技術集団として、知能化のその先へ。最新の画像解析やデータ分析技術を駆使し、ビジネスの現場にある複雑な課題を即戦力となるソリューションへと昇華させます。世界レベルの技術力と柔軟な発想力で、お	AIカウントシステム「Deep Counter」

	お客様と共に新たな価値と未来を創造するイノベーションパートナーです。	
--	------------------------------------	--

■ 来場のご予約

事前来場登録および特別講演の聴講予約は、下記の特設サイトよりお申し込みください。

フェア詳細ページは[こちら](#)、申し込みフォームは[こちら](#)

※本フェアは、建設業および関連業界に従事される法人・団体の皆様を対象としたイベントです。誠に恐れ入りますが、法人・団体に所属しない個人の方のご参加はご遠慮いただいております。

■ イベント概要

- 名 称 : TAKAMIYA FAIR 2026 未来を、共に。ここから。
- 日 時 : 2026年10月15日（木）・16日（金）
- 会 場 : Takamiya Lab. West
- 所在地 : 兵庫県尼崎市船出21-1
- 対 象 : 建設関係者、および建設分野への技術導入・共創に関心を持つ企業・団体

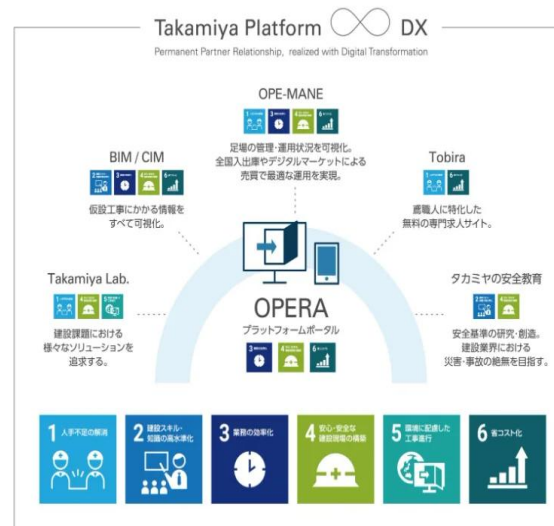
■ 会場へのアクセス

- **送迎バス** 時間帯はフェア詳細ページでご確認ください
JR尼崎駅・阪神尼崎駅からTakamiya Lab. Westへの直通送迎バスを運行しています。
※定員は20名となっております。定員を超える場合はご乗車いただけません。
※道路の混雑状況により、バスの出発・到着時刻が遅れる場合がございます。
- **車**
Takamiya Lab. Westの駐車場をご利用いただけます。
- **タクシー**
帰りのタクシー確保が難しい場合がございます。弊社送迎バスなどのご利用をご検討ください。

■ 業界を横断して、建設業全体の構造的な課題に取り組むタカミヤ

タカミヤは建設業の深刻な人手不足・コスト高などの問題に対応するため、建設ソリューション群「タカミヤプラットフォーム」を提供しています。足場等の仮設機材の調達・運用マーケットプレイス提供やデジタル設計支援等のデジタル化にはじまり、専職人に特化した無料の求人サイトまで、多岐にわたるソリューションを統合しています。

今回開催する「TAKAMIYA FAIR 2026 未来を、共に。ここから。」も、その一環として、建設業界の業務効率化や生産性向上に貢献します。



これにより、タカミヤは建設業界のコスト削減、人手不足の解消、安全性向上、業務効率化を推進し、業界全体の生産性向上に貢献します。

■ 株式会社タカミヤについて

建設現場で使われる仮設機材をはじめとする、住宅用機材、構造機材、農業用ハウス、防災用ダムなど多彩な製品について、開発・製造から、販売、レンタル、設計、施工までトータルにサービスを提供しています。

技術革新を通じて付加価値の高い製品やサービスを生み出し、地下工事から超高層建物、高速道路、橋、農業、自然災害対策分野など、さまざまな「現場」の安全性・施工性を向上させ、業界の発展に貢献しています。

社名 : 株式会社タカミヤ

代表 : 高宮 一雅

本社所在地 : 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 タワーB 27階
: 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング12階

URL : <https://corp.takamiya.co/>

設立 : 1969年6月21日

資本金 : 10億 5,214万円

従業員数 : 758名（連結従業員数 1,361名）

事業内容 : 仮設機材の開発、製造、販売及びレンタル、仮設工事の計画、設計、施工ならびに建設現場の課題解決に向けたプラットフォームサービスの提供

【本件に関する問い合わせ先】

タカミヤ広報事務局：シェイプウィン株式会社（担当：齊木、江原、勝山）

03-6427-2298 press-takamiya@shapewin.co.jp